

科目名	社会学	教員名	吉井 英二
-----	-----	-----	-------

1. 授業概要

個々の集団の「しくみ」と「はたらき」を学ぶことで、社会とはいったい何か、また社会は人間にどんな影響を与えるのかを学ぶ。また、現代社会で起きるさまざまな現象のメカニズムを解明したり、社会が抱えている問題の原因を探り、有効な解決策を考えることを目的とする。章ごとに問題演習を実施することで、理解の確認も行う。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	イントロダクション	31	逸脱行動2
2	社会集団論1	32	逸脱行動3
3	社会集団論2	33	問題演習
4	社会集団論3	34	社会変動1
5	問題演習	35	社会変動2
6	集団類型論1	36	社会変動3
7	集団類型論2	37	問題演習
8	集団類型論3	38	都市1
9	問題演習	39	都市2
10	家族の類型・変遷1	40	都市3
11	家族の類型・変遷2	41	問題演習
12	家族の類型・変遷3	42	社会心理1
13	問題演習	43	社会心理2
14	家族の機能・役割1	44	社会心理3
15	家族の機能・役割2	45	問題演習
16	家族の機能・役割3	46	文化1
17	問題演習	47	文化2
18	労働1	48	文化3
19	労働2	49	問題演習
20	労働3	50	マスメディア1
21	問題演習	51	マスメディア2
22	階級・階層1	52	マスメディア3
23	階級・階層2	53	問題演習
24	階級・階層3	54	社会学理論 古典
25	問題演習	55	問題演習
26	社会組織1	56	社会学理論 中期
27	社会組織2	57	問題演習
28	社会組織3	58	社会学理論 現代
29	問題演習	59	問題演習
30	逸脱行動1	60	基礎概念・社会調査

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
オリジナルプリントを配布 公務員試験過去問攻略Vテキスト社会学	TAC株式会社	TAC株式会社出版事業部

5. その他・特記事項

--

科目名	政治学	教員名	吉井 英二
-----	-----	-----	-------

1. 授業概要

自由民主主義思想を中心に、歴史上および現代の政治理論の基本的議論を学ぶ。具体的には、近代社会の特徴、近代の主たる政治思想の潮流、自由民主主義の思想の意義、現代の諸問題と論争について基本的な知識を習得する。あわせて、これらの議論を行うために必要な政治学上の基本概念及び理論を習得する。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	イントロダクション	31	執政・立法・司法5 司法機関の独立性と確保
2	政治とその分析1 政治の定義	32	政策過程1 なぜ政治過程が重要か
3	政治とその分析2 分析手法	33	政策過程2 政治過程の段階論
4	政治的秩序の概念1 政治の役割	34	政策過程3 政治と行政の融合
5	政治的秩序の概念2 政治と権力闘争	35	政策過程4 官僚制の自立性
6	政治的秩序の概念3 秩序の変更と精度の限界	36	政策過程5 競争と協調(レントとロビイング)
7	政治的秩序の概念4 囚人のジレンマとその解決	37	連邦制と地方制度1 単一国家と連邦国家の違い
8	国家という枠組み1 国家と国民の定義	38	連邦制と地方制度2 連邦制における権力の分割と共有
9	国家という枠組み2 国家の役割と種類	39	連邦制と地方制度3 地方自治の機能
10	国家という枠組み3 国家と市民の対抗関係	40	連邦制と地方制度4 政治的・行政的・財政的分権
11	政治体制1 政治体制の分類	41	連邦制と地方制度5 地方分権のメリットとデメリット
12	政治体制2 民主化と近代化	42	連邦制と地方制度6 日本の地方分権
13	政治体制3 サバイバル理論と対抗のモデル	43	安全保障と平和1 戦争と平和の定義
14	選挙と投票1 民主主義における選挙1	44	安全保障と平和2 外交の失敗とそのパターン
15	選挙と投票2 民主主義における選挙2	45	安全保障と平和3 安全保障の選択肢
16	選挙と投票3 選挙と選挙制度	46	安全保障と平和4 安全保障のジレンマ
17	選挙と投票4 投票行動	47	安全保障と平和5 民主化／民主化介入の平和
18	政党と政党システム1 政党の役割	48	安全保障と平和6 現実主義的アプローチ
19	政党と政党システム2 政党組織とその発展	49	安全保障と平和7 リベラリズムのアプローチ
20	政党と政党システム3 政党システムとは何か	50	安全保障と平和8 構造主義的アプローチ
21	政党と政党システム4 デュベルジュの法則	51	国際政治経済1 なぜ自由貿易が望ましいか
22	政権とアカウンタビリティ1 執政権力	52	国際政治経済2 政治体制と自由貿易
23	政権とアカウンタビリティ2 リーダーの選択と責任	53	国際政治経済3 2way-Levelゲーム
24	政権とアカウンタビリティ3 政権の形成とその中枢	54	国際政治経済4 国際制度の種類
25	政権とアカウンタビリティ4 民主主義のタイプ	55	国際政治経済5 国家が国際制度に頼る条件
26	執政・立法・司法1 議院内閣制と大統領制	56	個人と国際社会1 主権国家の相対化
27	執政・立法・司法2 大統領制の運用	57	個人と国際社会2 国際関係の社会性
28	執政・立法・司法3 立法過程における権力分割1	58	個人と国際社会3 外交の民主化
29	執政・立法・司法4 立法過程における権力分割2	59	個人と国際社会4 人権保護と国際関係
30	執政・立法・司法5 議会優位と司法の違憲審査権	60	個人と国際社会5 暴力の独占、その溶解とテロリズム

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
オリジナルプリントを配布 公務員試験過去問攻略Vテキスト政治学	TAC株式会社	TAC株式会社出版事業部

5. その他・特記事項

--

科目名	国際政治史	教員名	有馬 博宣
-----	-------	-----	-------

1. 授業概要

個別の国の政治史や外交史ではなく、大国あるいは強国間の政治現象を学ぶ。主要大国間の関係性をマクロ的、システム論的に捉えることで、今日における社会の構図の成り立ちを知ることが目的である。全体の時間数が限られるので、学生自身の事前学習や調べこみを基礎とし、講義では新たな視点や知識を持たせることを目指す。前半で得た知見をもとに、国際政治理論や国際法の基礎を学び、国際政治と表裏一体をなす国際経済史にも踏み込みながら国際政治の諸現象を学ぶ。国家間の関係性を構造主義的見地から捉え直し、特に近年の国際紛争の要因を理解することに重きを置く。全体の時間数が限られるので、学生自身の事前学習や調べこみを基礎とし、講義では新たな視点や知識を持たせることを目指す。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	イントロダクション	31	イントロダクション
2	西欧国家体系の成立1	32	国際関係理論1(リアリズム)
3	西欧国家体系の成立2	33	国際関係理論2(リアリズム)
4	西欧国家体系の拡大・変容1	34	国際関係理論3(構造主義)
5	西欧国家体系の拡大・変容2	35	国際関係理論4(その他の理論)
6	産業革命と19世紀国際関係1	36	国際法概論1
7	産業革命と19世紀国際関係2	37	国際法概論2
8	産業革命と19世紀国際関係3	38	国際法と諸問題1(軍縮と国際法)
9	産業革命と19世紀国際関係4	39	国際法と諸問題2(環境問題と国際法)
10	新興民族国家の成立	40	国際経済史1(国際通貨体制)
11	帝国主義の時代1	41	国際経済史2(自由貿易体制)
12	帝国主義の時代2	42	国際経済史3(貿易摩擦・経済紛争)
13	帝国主義の時代3	43	国際経済史4(南北問題)
14	第一次世界大戦と西欧国家体系の動揺1	44	国際経済史5(ODA)
15	第一次世界大戦と西欧国家体系の動揺2	45	国際経済史6(人間の安全保障)
16	第一次世界大戦と西欧国家体系の動揺3	46	国際紛争1(中世)
17	戦間期の世界1	47	国際紛争2(近代)
18	戦間期の世界2	48	国際紛争3(第1次世界大戦)
19	戦間期のアジア	49	国際紛争4(戦間期)
20	第二次世界大戦中の国際関係1	50	国際紛争5(第2次世界大戦)
21	第二次世界大戦中の国際関係2	51	国際紛争6(冷戦期)
22	第二次世界大戦の終結と新秩序の形成1	52	国際紛争7(冷戦終結後)
23	第二次世界大戦の終結と新秩序の形成2	53	国際紛争8(近年の国際紛争①)
24	冷戦概念と現代国際政治史1	54	国際紛争9(近年の国際紛争②)
25	冷戦概念と現代国際政治史2	55	国際紛争10(近年の国際紛争③)
26	冷戦概念と現代国際政治史3	56	国際紛争11(近年の国際紛争④)
27	問題演習	57	国際紛争12(近年の国際紛争⑤)
28	問題演習	58	問題演習
29	問題演習	59	問題演習
30	問題演習	60	問題演習

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
オリジナルプリントを配布 公務員Vテキスト国際関係。	TAC株式会社	TAC株式会社出版事業部

5. その他・特記事項

--

科目名	歴史	教員名	粕谷草太
-----	----	-----	------

1. 授業概要

授業はプリントを中心に行う。内容は基礎事項の確認と歴史の流れを掴んでもらい、歴史への抵抗をなくして、興味を持たせる(人物に関するエピソードや雑学を盛り込む)。前半で得た知見をもとに、問題演習を行い、その後に解説を実施。また、各单元ごとに学生自身で調べ発表する形式で各章の知識の掘り下げを行い、新たな視点や知識を持たせることを目指す。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	イントロダクション	31	イントロダクション
2	四大文明1	32	四大文明 演習
3	四大文明2	33	四大文明 演習
4	四大文明3	34	四大文明 演習
5	四大文明4	35	四大文明 学生発表
6	ギリシャ世界1	36	ギリシャ世界 演習
7	ギリシャ世界2	37	ギリシャ世界 演習
8	ギリシャ世界3	38	ギリシャ世界 学生発表
9	ローマ帝国1	39	ローマ帝国 演習
10	ローマ帝国2	40	ローマ帝国 演習
11	ローマ帝国3	41	ローマ帝国 学生発表
12	西ヨーロッパ・キリスト教の発展1	42	西ヨーロッパ・キリスト教の発展 演習
13	西ヨーロッパ・キリスト教の発展2	43	西ヨーロッパ・キリスト教の発展 演習
14	西ヨーロッパ・キリスト教の発展3	44	西ヨーロッパ・キリスト教の発展 学生発表
15	東ヨーロッパ・封建社会の変化1	45	東ヨーロッパ・封建社会の変化 演習
16	東ヨーロッパ・封建社会の変化2	46	東ヨーロッパ・封建社会の変化 演習
17	東ヨーロッパ・封建社会の変化3	47	東ヨーロッパ・封建社会の変化 学生発表
18	ルネサンス・宗教改革1	48	ルネサンス・宗教改革 演習
19	ルネサンス・宗教改革2	49	ルネサンス・宗教改革 演習
20	ルネサンス・宗教改革3	50	ルネサンス・宗教改革 演習
21	ルネサンス・宗教改革4	51	ルネサンス・宗教改革 学生発表
22	新大陸発見～絶対主義1	52	新大陸発見～絶対主義1 演習
23	新大陸発見～絶対主義2	53	新大陸発見～絶対主義2 学生発表
24	市民革命1	54	市民革命 演習
25	市民革命2	55	市民革命 学生発表
26	ヨーロッパ諸国の東進1	56	ヨーロッパ諸国の東進 演習
27	ヨーロッパ諸国の東進2	57	ヨーロッパ諸国の東進 学生発表
28	現代社会1	58	現代社会 演習
29	現代社会2	59	現代社会 学生発表
30	問題演習	60	総合問題演習

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
オリジナルプリント。公務員Vテキスト人文科学	TAC株式会社	TAC株式会社出版事業部

5. その他・特記事項

--

科目名	地理学	教員名	貝沼遼
-----	-----	-----	-----

1. 授業概要

世界の大陸・自然・国・気候・産業・農業を基礎知識から学ぶ。グループワークとプレゼンを章ごとに実施することで、学生自身の主体的な学びを引き出す。適宜、白地図や資料を配布し、授業を進める。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	イントロダクション	31	各国地誌1
2	世界の大地形	32	各国地誌2
3	世界の造山帯	33	各国地誌3
4	世界の火山活動	34	各国地誌4
5	グループワーク	35	グループワーク
6	プレゼン	36	プレゼン
7	侵食・堆積による地形1	37	都市の種類1
8	侵食・堆積による地形2	38	都市の種類2
9	侵食・堆積による地形3	39	グループワーク
10	グループワーク	40	プレゼン
11	プレゼン	41	日本の自然と環境1
12	気候要素・ケッペンの気候区分	42	日本の自然と環境2
13	熱帯	43	日本の農業1
14	温帯	44	日本の農業2
15	冷帯	45	日本の工業1
16	乾燥帯	46	日本の工業2
17	グループワーク	47	グループワーク
18	プレゼン	48	プレゼン
19	世界の農牧業地域	49	問題演習
20	西ヨーロッパの農牧業	50	問題演習
21	アメリカ・ラテンアメリカの農牧業	51	問題演習
22	旧ソ連・アジア・オセアニアの農牧業	52	問題演習
23	グループワーク	53	問題演習
24	プレゼン	54	問題演習
25	世界の鉱工業	55	問題演習
26	西ヨーロッパの鉱工業	56	問題演習
27	アメリカ・ラテンアメリカの農牧業	57	問題演習
28	旧ソ連・アジア・オセアニアの農牧業	58	問題演習
29	グループワーク	59	問題演習
30	プレゼン	60	問題演習

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
オリジナルプリント。公務員Vテキスト人文科学	TAC株式会社	TAC株式会社出版事業部

5. その他・特記事項

--

科目名	自然科学1(生物・地学)	教員名	若林 耕治
-----	--------------	-----	-------

1. 授業概要

テキストに従って生物の基本内容及び応用レベル知識習得を目指し、上級公務員試験に対応できるようすべての範囲を学習する。合わせて地学についての範囲も講義する。地学テキストの不足分は補足プリントを利用し、重要項目のマーカー引き・書き込みをさせる。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 30回＝総授業時数 1350分)

1	生物Lesson1 細胞と組織	31	
2	生物Lesson1 細胞と組織	32	
3	地学Lesson1 地球の動き	33	
4	地学Lesson2 太陽系	34	
5	地学Lesson2 太陽系	35	
6	地学Lesson3 恒星地学Lesson2 太陽系	36	
7	生物Lesson2 光合成	37	
8	生物Lesson2 光合成	38	
9	生物Lesson3 酵素・呼吸	39	
10	生物Lesson3 酵素・呼吸	40	
11	地学Lesson4 地震	41	
12	地学Lesson4 地震	42	
13	生物Lesson4 刺激と反応	43	
14	生物Lesson4 刺激と反応	44	
15	地学Lesson5 岩石の分類	45	
16	地学Lesson6 地史	46	
17	生物Lesson5 ヒトの恒常性	47	
18	生物Lesson5 ヒトの恒常性	48	
19	地学Lesson7 大気と海洋	49	
20	地学Lesson7 大気と海洋	50	
21	生物Lesson6 植物の反応と調節	51	
22	生物Lesson7 生殖・性の決定	52	
23	生物Lesson8 遺伝	53	
24	生物Lesson8 遺伝	54	
25	生物Lesson8 遺伝	55	
26	地学Lesson8 日本の天気	56	
27	地学Lesson8 日本の天気	57	
28	生物Lesson9 生物の集団	58	
29	生物Lesson10 生物の分類・進化	59	
30	生物Lesson11 食物連鎖・物質の循環	60	

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
新スーパー過去問ゼミ自然科学 大卒程度	実務教育出版 編集部	実務教育出版

5. その他・特記事項

科目名	自然科学2(物理・化学)	教員名	中野 樹
-----	--------------	-----	------

1. 授業概要

テキストに従って化学・物理の基本的な知識から応用レベルまで知識の習得を目指し、上級公務員試験に対応できるようにすべての範囲を学習する。テキストの例題を始め過去問題集を解けることを到達目標とし、上級公務員試験合格レベルを目指す。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 30回＝総授業時数 1350分)

1	化学Lesson1 物質の構成	31	
2	化学Lesson1 物質の構成	32	
3	化学Lesson2 元素の周期表	33	
4	化学Lesson2 元素の周期表	34	
5	物理Lesson1 力のつり合い	35	
6	物理Lesson1 力のつり合い	36	
7	化学Lesson3 化学結合	37	
8	化学Lesson3 化学結合	38	
9	化学Lesson4 化学反応と物質質量	39	
10	化学Lesson4 化学反応と物質質量	40	
11	物理Lesson2 物体の運動	41	
12	物理Lesson2 物体の運動	42	
13	化学Lesson5 物質の状態	43	
14	化学Lesson5 物質の状態	44	
15	化学Lesson6 酸と塩基	45	
16	化学Lesson6 酸と塩基	46	
17	物理Lesson3 エネルギーと運動量	47	
18	物理Lesson3 エネルギーと運動量	48	
19	化学Lesson7 酸化と還元	49	
20	化学Lesson7 酸化と還元	50	
21	化学Lesson8 無機物質と有機物質	51	
22	化学Lesson8 無機物質と有機物質	52	
23	物理Lesson4 電流と磁界	53	
24	物理Lesson4 電流と磁界	54	
25	化学Lesson9 気体の製法と性質	55	
26	化学Lesson9 気体の製法と性質	56	
27	物理Lesson5 波動	57	
28	物理Lesson5 波動	58	
29	物理Lesson6 熱・原子	59	
30	物理Lesson6 熱・原子	60	

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
新スーパー過去問ゼミ自然科学 大卒程度	実務教育出版 編集部	実務教育出版

5. その他・特記事項

科目名	財政学	教員名	粕谷草太
-----	-----	-----	------

1. 授業概要

特定分野に特化せず、財政学主要項目全般を対象としてその理論的・制度的側面に重点を置きながら政策分析に必要不可欠な「財政学」の基礎を学び、理論的発展と制度的改革の方向性を考究する。また、その考究により、現実的・直接的な財政上の諸問題について、学生自らが幅広く考える力を養うことを目的とする。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	財政学研究の意義	31	経費の意義とその膨張
2	財政学とは何か	32	経費区分と国民経済計算
3	財政学と経済学の関係性	33	社会保障財政
4	財政思想とその変遷	34	教育財政
5	財政の機能	35	費用便益分析
6	財政分析の意義	36	租税の意義と機能
7	予算の意義	37	租税負担の根拠と負担配分
8	予算原則	38	租税体系
9	日本の予算と決算制度①	39	租税原則
10	日本の予算と決算制度②	40	最適課税論
11	日本の予算と決算制度③	41	租税の転嫁と帰着
12	日本の予算と決算制度④	42	租税体系の変遷
13	近年の予算の特色	43	各国の税制
14	財政投融资	44	所得課税の理論
15	財政資金	45	消費課税の理論
16	予算改革・予算制度改革	46	公債の意義
17	社会保障の構造改革	47	公債の種類と特徴
18	各国の財政事情①	48	公債原則
19	各国の財政事情②	49	公債の負担論
20	各国の財政事情③	50	日本の公債問題
21	地方財政の原則	51	財政理論①
22	地方財政計画	52	財政政策論
23	地方財政の歳入	53	財政政策論
24	地方財政の歳出	54	ケインズ経済学の基礎
25	地方財政の現状と課題	55	フィスカル・ポリシーとビルト・イン・スタビライザー
26	地方財政改革	56	乗数理論
27	公共経済学の基礎理論	57	IS-LM分析
28	市場の失敗	58	ポリシー・ミックス
29	公共財の理論	59	講義総括①
30	政府の失敗	60	講義総括②

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 20%
期末試験(筆記・レポート) 70%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
・財政学入門[改訂版](改訂24版) ・新スーパー過去問ゼミ7 財政学	・佐藤進/関口浩 ・資格試験研究会	・同文館 ・実務教育出版社

5. その他・特記事項

--

科目名	社会政策	教員名	戸田 聡
-----	------	-----	------

1. 授業概要

現代の資本主義社会では、労働・生活に関わる様々な社会問題が生じています。この授業では、学問としての社会政策の基本的枠組みを把握した上で、種々の労働・生活問題対策の歴史現状を理解することを目的とします。授業を通じて、労働・生活に関する今日的な政策領域について持論を展開できる能力の獲得を目標とします。学問的な社会政策の基本を理解したうえで、身近な事例やその歴史を授業内で取り上げ、持論育成のベースを作ります。そのベースをもとに労働・生活問題の把握の上、解決策を探り論じていきます。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 60回＝総授業時数 2700分)

1	社会政策の考え方①	31	労使関係⑤
2	社会政策の考え方②	32	労使関係⑥
3	社会政策の考え方③	33	社会保障①
4	社会政策の考え方④	34	社会保障②
5	社会政策の考え方⑤	35	社会保障③
6	社会政策の考え方⑥	36	社会保障④
7	社会政策の考え方⑦	37	社会保障⑤
8	賃金①	38	社会保障⑥
9	賃金②	39	労働時間②+G17:K36
10	賃金③	40	社会保障⑧
11	賃金④	41	社会保障⑨+G17:K36
12	賃金⑤	42	高齢社会①
13	賃金⑥	43	高齢社会②
14	労働時間①	44	高齢社会③
15	労働時間②	45	高齢社会④
16	労働時間③	46	高齢社会⑤
17	労働時間④	47	高齢社会⑥
18	労働時間⑤	48	男女平等①
19	労働時間⑥	49	男女平等②
20	雇用・失業①	50	男女平等③
21	雇用・失業②	51	男女平等④
22	雇用・失業③	52	男女平等⑤
23	雇用・失業④	53	男女平等⑥
24	雇用・失業⑤	54	男女平等⑦
25	雇用・失業⑥	55	外国人労働者①
26	雇用・失業⑦	56	外国人労働者②
27	労使関係①	57	外国人労働者③
28	労使関係②	58	外国人労働者④
29	労使関係③	59	外国人労働者⑤
30	労使関係④	60	まとめ

3. 評価方法

出席 10%
授業内でのレポート・課題等 10%
期末試験(筆記・レポート) 80%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
よくわかる社会政策	石畑遼太郎・牧野富夫・伍賀一道編著	ミネルヴァ書房

5. その他・特記事項

--

科目名	体育実技 I	教員名	生田あかね
-----	--------	-----	-------

1. 授業概要

健康で充実した生活を送るため、運動を定期的実践し、心身ともに健康の維持・向上に繋げる。
学内の運動場において、実践形式で実技を身につける。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 授業回数 30回 = 総授業時数 1350分)

1	オリエンテーション	21	下肢筋カトレーニング5
2	ウォーキング1	22	上肢筋カトレーニング1
3	ウォーキング2	23	上肢筋カトレーニング2
4	ウォーキング3	24	上肢筋カトレーニング3
5	ウォーキング4	25	上肢筋カトレーニング4
6	ウォーキング5	26	上肢筋カトレーニング5
7	ストレッチ1	27	持久走トレーニング1
8	ストレッチ2	28	持久走トレーニング2
9	ストレッチ3	29	持久走トレーニング3
10	ストレッチ4	30	まとめ
11	ストレッチ5	31	
12	体幹トレーニング1	32	
13	体幹トレーニング2	33	
14	体幹トレーニング3	34	
15	体幹トレーニング4	35	
16	体幹トレーニング5	36	
17	下肢筋カトレーニング1	37	
18	下肢筋カトレーニング2	38	
19	下肢筋カトレーニング3	39	
20	下肢筋カトレーニング4	40	

3. 評価方法

出席	80%	} 100%
授業貢献度		
授業内のレポート・課題等	20%	
中間試験		
期末試験		

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社

5. その他・特記事項

科目名	体育実技Ⅱ	教員名	生田あかね
-----	-------	-----	-------

1. 授業概要

将来にわたり、健康で充実した生活を送るため、適度な運動により体力の維持・向上を図るとともに、疲労の回復過程やストレスの解消方法についての知識を身に付け、日常的な運動の実践から心身ともに健康の増進に繋げることができる。

学内の運動場において、実践形式で実技を身につける。

2. 授業計画 (1時限 45分×授業回数 30回＝総授業時数 1350分)

1	オリエンテーション	21	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング1
2	ウォーキング・下肢ストレッチ1	22	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング2
3	ウォーキング・下肢ストレッチ2	23	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング3
4	ウォーキング・下肢ストレッチ3	24	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング1
5	ウォーキング・下肢ストレッチ4	25	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング2
6	ウォーキング・下肢ストレッチ5	26	ウォーキング・アイソメトリックトレーニング3
7	ウォーキング・上肢ストレッチ1	27	ウォーキング・エキセントリックトレーニング1
8	ウォーキング・上肢ストレッチ2	28	ウォーキング・エキセントリックトレーニング2
9	ウォーキング・上肢ストレッチ3	29	ウォーキング・エキセントリックトレーニング3
10	ウォーキング・上肢ストレッチ4	30	まとめ
11	ウォーキング・上肢ストレッチ5	31	
12	ウォーキング・体幹トレーニング1	32	
13	ウォーキング・体幹トレーニング2	33	
14	ウォーキング・体幹トレーニング3	34	
15	ウォーキング・体幹トレーニング4	35	
16	ウォーキング・体幹トレーニング5	36	
17	ウォーキング・呼吸法1	37	
18	ウォーキング・呼吸法2	38	
19	ウォーキング・呼吸法3	39	
20	ウォーキング・呼吸法4	40	

3. 評価方法

出席	80%	} 100%
授業貢献度		
授業内のレポート・課題等	20%	
中間試験		
期末試験		

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社

5. その他・特記事項

科目名	社会科学	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科1年・法律公務員学科1年	開講時期	通年
教員名	粕谷草太	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

本科目はライブ配信による遠隔授業形式と対面授業の併用にて実施する。
 頻出ポイントに絞りテキストの確認・補足→演習問題で覚えていない箇所を絞り出し、知識の穴を埋めていく。
 基礎知識を生かし、使用テキスト以外の問題にも挑戦し得点できる力を養う。
 最終的に、各評価試験で7割の得点を目標とする。
 出欠確認／課題配布&提出／質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 62回 = 2790分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	政治 テーマ1 法学一般	41	経済 テーマ10 経済事情 経済史
2	政治 テーマ1 法の基礎理論	42	経済 テーマ11 経済事情 世界の通貨・貿易体制
3	政治 テーマ3 憲法	43	経済 テーマ12 経済事情 日本・世界経済事情
4	政治 テーマ4 基本的人権(総論)	44	経済 テーマ13 経済事情 日本・世界経済事情
5	政治 テーマ4 基本的人権(総論)	45	経済 テーマ14 経済事情 経済・経営用語
6	政治 テーマ5 基本的人権(各論)	46	社会テーマ1 社会学・心理学の基礎
7	政治 テーマ5 基本的人権(各論)	47	社会テーマ2 労働事情
8	政治 テーマ6～8 国会・内閣・裁判所	48	社会テーマ2 労働事情
9	政治 テーマ6～8 国会・内閣・裁判所	49	社会テーマ3 少子高齢化・社会保障
10	政治 テーマ9 地方自治	50	社会テーマ3 少子高齢化・社会保障
11	政治 テーマ9 地方自治	51	社会テーマ4 政治・経済・国際事情
12	政治 テーマ10 選挙	52	社会テーマ4 政治・経済・国際事情
13	政治 テーマ10 選挙	53	社会テーマ5 消費者問題・食料事情
14	政治 テーマ11 行政に関する諸問題	54	社会テーマ5 消費者問題・食料事情
15	政治 テーマ11 行政に関する諸問題	55	社会テーマ6 環境・資源環境
16	政治 テーマ12 各国の政治制度	56	社会テーマ6 環境・資源環境
17	政治 テーマ12 各国の政治制度	57	社会テーマ7 科学技術・医療
18	政治 テーマ13 国際政治	58	社会テーマ7 科学技術・医療
19	政治 テーマ13 国際政治	59	社会テーマ8 その他の社会問題
20	政治 テーマ14 国際連合	60	過去問演習
21	政治 テーマ14 国際連合	61	過去問演習
22	経済 テーマ1 ミクロ経済学 需要曲線と供給曲線	62	過去問演習
23	経済 テーマ1 ミクロ経済学 需要曲線と供給曲線		
24	経済 テーマ2 ミクロ経済学 消費者と生産者の行動		
25	経済 テーマ2 ミクロ経済学 消費者と生産者の行動		
26	経済 テーマ3 ミクロ経済学 市場と経済厚生		
27	経済 テーマ3 ミクロ経済学 市場と経済厚生		
28	経済 テーマ4 マクロ経済学 国民所得の概念とその決定		
29	経済 テーマ4 マクロ経済学 国民所得の概念とその決定		
30	経済 テーマ5 マクロ経済学 経済政策論		
31	経済 テーマ5 マクロ経済学 経済政策論		
32	経済 テーマ6 マクロ経済学 金融政策と制度・事情		
33	経済 テーマ6 マクロ経済学 金融政策と制度・事情		
34	経済 テーマ7 マクロ経済学 インフレーション		
35	経済 テーマ7 マクロ経済学 インフレーション		
36	経済 テーマ8 財政学 財政の機能と財政制度・事情		
37	経済 テーマ8 財政学 財政の機能と財政制度・事情		
38	経済 テーマ9 財政学 租税制度		
39	経済 テーマ9 財政学 租税制度		
40	経済 テーマ10 経済事情 経済史		

3. 評価方法

出席	20%	100%	備考欄 ・ 毎時出される課題の提出により動画視聴を確認し、これをもって出欠管理とする。この課題の成績は最終評価の50%を占めるものであり、真剣に取り組むことが強く推奨される。 ・ 諸連絡は各担任よりTeams若しくはクラスLINEによりなされる
授業貢献度	20%		
授業内のレポート・課題等			
中間試験	30%		
期末試験	30%		

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員Vテキスト社会科学		
著者名	TAC株式会社	出版社	TAC株式会社出版事業部

5. 実務教員の経歴

無

科目名	数的推理	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科・法律公務員学科2年	開講時期	通年
教員名	池口清秀	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

本科目はライブ配信による遠隔授業形式と対面授業の併用にて実施する。
 数的推理の全範囲を指導する。2年次は公務員試験の高卒レベルの内容を指導し、より難易度の高い翌年の大卒レベルの指導へとつなげる。授業では、基本問題の解き方を中心に解説を行う。1テーマ2～3時間で指導を行う。テキストと必要に応じ自作のプリントを使用する。
 出欠確認/課題配布&提出/質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画

(1時限 45分 × 62回 = 2790分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1章 数と式の計算 ①数の計算	41	⑮順列
2	①数の計算	42	⑮順列
3	②約数・倍数	43	⑯組合せ
4	②約数・倍数	44	⑯組合せ
5	③覆面算・方陣算	45	⑰確率
6	③覆面算・方陣算	46	⑰確率
7	④記数法・整数問題	47	問題演習
8	④記数法・整数問題	48	問題演習
9	⑤数列	49	第4章 図形 ⑱三角形の性質
10	⑤数列	50	⑱三角形の性質
11	問題演習	51	⑱三角形の性質
12	問題演習	52	⑲多角形
13	第2章 方程式・不等式の応用 ⑥一次方程式・一次不等式	53	⑲多角形
14	⑥一次方程式・一次不等式	54	⑲多角形
15	⑥一次方程式・一次不等式	55	⑳円と扇形
16	⑦二次関数・二次方程式	56	⑳円と扇形
17	⑦二次関数・二次方程式	57	⑳円と扇形
18	⑦二次関数・二次方程式	58	㉑立体図形・最短距離
19	⑧一次方程式の整数解・剰余算	59	㉑立体図形・最短距離
20	⑧一次方程式の整数解・剰余算	60	㉑立体図形・最短距離
21	⑧一次方程式の整数解・剰余算	61	問題演習
22	⑨集合の要素の個数	62	問題演習
23	⑨集合の要素の個数	63	
24	⑨集合の要素の個数	64	
25	⑩濃度・割合・比	65	
26	⑩濃度・割合・比	66	
27	⑩濃度・割合・比	67	
28	⑪速さ	68	
29	⑪速さ	69	
30	⑪速さ	70	
31	⑫時計算・年齢算	71	
32	⑫時計算・年齢算	72	
33	⑫時計算・年齢算	73	
34	⑬仕事算・ニュートン算	74	
35	⑬仕事算・ニュートン算	75	
36	⑬仕事算・ニュートン算	76	
37	問題演習	77	
38	問題演習	78	
39	第3章 場合の数・確率 ⑭場合の数	79	
40	⑭場合の数	80	

3. 評価方法

出席	10%	100%	備考欄 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月、2月に行う評定試験の成績が評価のメインとなる ・ 授業内で行う問題演習の得点、出席も評価に加味する。 ・ 出席は毎時間のteamsへの投稿で確認する。 ・ オンラインで質問を受け付ける時間を設け対応する。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員試験 ゼロから合格 基本過去問題集 数的推理	出版社	TAC出版
著者名			

5. 実務教員の経歴

無

科目名	判断推理	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科・法律公務員学科2年	開講時期	通年
教員名	池口清秀	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

本科目はライブ配信による遠隔授業形式と対面授業の併用にて実施する。判断推理の全範囲を指導する。2年次は公務員試験の高卒レベルの内容を指導し、より難易度の高い翌年の大卒レベルの指導へとつなげる。授業では、基本問題の解き方を中心に解説を行う。1テーマ2～4時間で指導を行う。テキストと必要に応じ自作のプリントを使用する。

出欠確認/課題配布&提出/質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

70回

=

3150分

4単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1章 暗号・集合・命題 ①暗号の解説	41	⑮点の移動と軌跡
2	①暗号の解説	42	⑮点の移動と軌跡
3	②集合と要素の数	43	⑮点の移動と軌跡
4	②集合と要素の数	44	⑮点の移動と軌跡
5	②集合と要素の数	45	⑯図形のつながり
6	②集合と要素の数	46	⑯図形のつながり
7	③命題の真偽	47	第6章 空間図形 ⑰立体の組み立て
8	③命題の真偽	48	⑰立体の組み立て
9	問題演習	49	⑱展開図とその応用
10	問題演習	50	⑱展開図とその応用
11	第2章 文章で表された条件 ④対応関係	51	⑱展開図とその応用
12	④対応関係	52	⑱展開図とその応用
13	⑤順序関係	53	⑲投影図とその応用
14	⑤順序関係	54	⑲投影図とその応用
15	⑥試合の勝ち負け	55	⑲投影図とその応用
16	⑥試合の勝ち負け	56	⑲投影図とその応用
17	⑦発言の真偽	57	⑳立体の回転と切断
18	⑦発言の真偽	58	⑳立体の回転と切断
19	⑦発言の真偽	59	⑳立体の回転と切断
20	⑦発言の真偽	60	⑳立体の回転と切断
21	問題演習	61	問題演習
22	問題演習	62	問題演習
23	第3章 数量で表された条件 ⑧操作の方法	63	
24	⑧操作の方法	64	
25	⑨数量の関係	65	
26	⑨数量の関係	66	
27	⑩経路と距離	67	
28	⑩経路と距離	68	
29	問題演習	69	
30	問題演習	70	
31	第4章 方位と位置 ⑪方位と方角	71	
32	⑪方位と方角	72	
33	⑫相互の位置関係	73	
34	⑫相互の位置関係	74	
35	問題演習	75	
36	問題演習	76	
37	第5章 平面図形 ⑬図形の切断と構成	77	
38	⑬図形の切断と構成	78	
39	⑭折り紙と模様	79	
40	⑭折り紙と模様	80	

3. 評価方法

出席	10%	100%	備考欄 ・ 9月、2月に行う評定試験の成績が評価のメインとなる ・ 授業内で行う問題演習の得点、出席も評価に加味する。 ・ 出席は毎時間のteamsへの投稿で確認する。 ・ オンラインで質問を受け付ける時間を設け対応する。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員試験 ゼロから合格 基本過去問題集 判断推理		
著者名		出版社	TAC出版

5. 実務教員の経歴

無

科目名	行政学	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法律公務員学科3年、法学部併修学科3年	開講時期	通年
教員名	吉井英二	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

各単元で頻出ポイントを重点的に行う。用語などが難しくイメージしづらいので具体的な例え話を盛り込み、要所所で以前に学んだポイントを再度例示しながら点だった知識を線にしていく。章順を入れ替えて行政学の歴史から始めて、用語や背景を掴んでから各論へと結びつける。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 60回 = 2700分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	テーマ18 行政の歴史と行政国家	41	テーマ14 行政統制
2	テーマ18 行政の歴史と行政国家	42	テーマ14 行政統制
3	テーマ19 行政学の歴史	43	テーマ14 行政統制
4	テーマ19 行政学の歴史	44	確認テスト
5	テーマ20 行政学の理論家	45	テーマ15 わが国の地方自治の現状
6	テーマ20 行政学の理論家	46	テーマ15 わが国の地方自治の現状
7	テーマ20 行政学の理論家	47	テーマ15 わが国の地方自治の現状
8	テーマ21 組織理論	48	確認テスト
9	テーマ21 組織理論	49	テーマ16 わが国の地方自治の歴史
10	確認テスト	50	テーマ16 わが国の地方自治の歴史
11	テーマ1 官僚制論	51	テーマ16 わが国の地方自治の歴史
12	テーマ1 官僚制論	52	確認テスト
13	テーマ2 官僚制の実態	53	テーマ17 諸外国の地方自治
14	テーマ2 官僚制の実態	54	テーマ17 諸外国の地方自治
15	テーマ3 行政組織の構成原理	55	テーマ17 諸外国の地方自治
16	テーマ3 行政組織の構成原理	56	確認テスト
17	テーマ4 わが国の行政組織	57	総まとめ
18	テーマ4 わが国の行政組織	58	総まとめ
19	テーマ5 行政委員と審議会	59	総まとめ
20	テーマ5 行政委員と審議会	60	総まとめ
21	確認テスト	61	
22	テーマ6 公務員制度	62	
23	テーマ6 公務員制度	63	
24	テーマ7 予算	64	
25	テーマ7 予算	65	
26	テーマ8 評価と能率	66	
27	テーマ8 評価と能率	67	
28	テーマ10 行政改革	68	
29	テーマ10 行政改革	69	
30	確認テスト	70	
31	テーマ11 行政過程	71	
32	テーマ11 行政過程	72	
33	テーマ11 行政過程	73	
34	テーマ12 行政活動	74	
35	テーマ12 行政活動	75	
36	テーマ12 行政活動	76	
37	確認テスト	77	
38	テーマ13 行政責任	78	
39	テーマ13 行政責任	79	
40	テーマ13 行政責任	80	

3. 評価方法

出席	10%	100%	備考欄
授業貢献度	10%		
授業内のレポート・課題等	30%		
中間試験			
期末試験	50%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	新スーパー過去問ゼミ6 行政学	出版社	実務教育出版
著者名			

5. 実務教員の経歴

無

科目名	社会科学	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法律公務員学科3年、法学部併修学科3年	開講時期	前期
教員名	有馬宣博	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

本科目は対面授業とライブ配信による遠隔授業の併用にて実施する。
 頻出ポイントに絞りテキストの確認・補足→演習問題で覚えていない箇所を絞り出し、知識の穴を埋めていく。
 基礎知識を生かし、使用テキスト以外の問題にも挑戦し得点できる力を養う。
 最終的に、各評価試験で7割の得点を目標とする。
 出欠確認/課題配布&提出/質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

62回

=

2790分

4単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	政治 テーマ1 法学一般	41	経済 テーマ10 経済事情 経済史
2	政治 テーマ1 法の基礎理論	42	経済 テーマ11 経済事情 世界の通貨・貿易体制
3	政治 テーマ3 憲法	43	経済 テーマ12 経済事情 日本・世界経済事情
4	政治 テーマ4 基本的人権(総論)	44	経済 テーマ13 経済事情 日本・世界経済事情
5	政治 テーマ4 基本的人権(総論)	45	経済 テーマ14 経済事情 経済・経営用語
6	政治 テーマ5 基本的人権(各論)	46	社会テーマ1 社会学・心理学の基礎
7	政治 テーマ5 基本的人権(各論)	47	社会テーマ2 労働事情
8	政治 テーマ6~8 国会・内閣・裁判所	48	社会テーマ2 労働事情
9	政治 テーマ6~8 国会・内閣・裁判所	49	社会テーマ3 少子高齢化・社会保障
10	政治 テーマ9 地方自治	50	社会テーマ3 少子高齢化・社会保障
11	政治 テーマ9 地方自治	51	社会テーマ4 政治・経済・国際事情
12	政治 テーマ10 選挙	52	社会テーマ4 政治・経済・国際事情
13	政治 テーマ10 選挙	53	社会テーマ5 消費者問題・食料事情
14	政治 テーマ11 行政に関する諸問題	54	社会テーマ5 消費者問題・食料事情
15	政治 テーマ11 行政に関する諸問題	55	社会テーマ6 環境・資源環境
16	政治 テーマ12 各国の政治制度	56	社会テーマ6 環境・資源環境
17	政治 テーマ12 各国の政治制度	57	社会テーマ7 科学技術・医療
18	政治 テーマ13 国際政治	58	社会テーマ7 科学技術・医療
19	政治 テーマ13 国際政治	59	社会テーマ8 その他の社会問題
20	政治 テーマ14 国際連合	60	過去問演習
21	政治 テーマ14 国際連合	61	過去問演習
22	経済 テーマ1 ミクロ経済学 需要曲線と供給曲線	62	過去問演習
23	経済 テーマ1 ミクロ経済学 需要曲線と供給曲線		
24	経済 テーマ2 ミクロ経済学 消費者と生産者の行動		
25	経済 テーマ2 ミクロ経済学 消費者と生産者の行動		
26	経済 テーマ3 ミクロ経済学 市場と経済厚生		
27	経済 テーマ3 ミクロ経済学 市場と経済厚生		
28	経済 テーマ4 マクロ経済学 国民所得の概念とその決定		
29	経済 テーマ4 マクロ経済学 国民所得の概念とその決定		
30	経済 テーマ5 マクロ経済学 経済政策論		
31	経済 テーマ5 マクロ経済学 経済政策論		
32	経済 テーマ6 マクロ経済学 金融政策と制度・事情		
33	経済 テーマ6 マクロ経済学 金融政策と制度・事情		
34	経済 テーマ7 マクロ経済学 インフレーション		
35	経済 テーマ7 マクロ経済学 インフレーション		
36	経済 テーマ8 財政学 財政の機能と財政制度・事情		
37	経済 テーマ8 財政学 財政の機能と財政制度・事情		
38	経済 テーマ9 財政学 租税制度		
39	経済 テーマ9 財政学 租税制度		
40	経済 テーマ10 経済事情 経済史		

3. 評価方法

出席	20%	100%	備考欄 ・ 毎時出される課題の提出により動画視聴を確認し、これをもって出欠管理とする。この課題の成績は最終評価の50%を占めるものであり、真剣に取り組むことが強く推奨される。 ・ 諸連絡は各担任よりTeams若しくはクラスLINEによりなされる
授業貢献度	20%		
授業内のレポート・課題等			
中間試験	30%		
期末試験	30%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員Vテキスト社会科学	出版社	TAC株式会社出版事業部
著者名	TAC株式会社		

5. 実務教員の経歴

無

科目名	数的推理	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法律公務員学科3年、法学部併修学科3年	開講時期	通年
教員名	池口 清秀	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

本科目は対面授業とライブ配信による遠隔授業の併用にて実施する。
 数的推理の全範囲を指導する。2年次は公務員試験の高卒レベルの内容を指導し、より難易度の高い翌年の大卒レベルの指導へとつなげる。授業では、基本問題の解き方を中心に解説を行う。1テーマ2～3時間で指導を行う。テキストと必要に応じ自作のプリントを使用する。

出欠確認/課題配布&提出/質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 62回 = 2790分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1章 数と式の計算 ①数の計算	41	⑮順列
2	①数の計算	42	⑮順列
3	②約数・倍数	43	⑯組合せ
4	②約数・倍数	44	⑯組合せ
5	③覆面算・方陣算	45	⑰確率
6	③覆面算・方陣算	46	⑰確率
7	④記数法・整数問題	47	問題演習
8	④記数法・整数問題	48	問題演習
9	⑤数列	49	第4章 図形 ⑱三角形の性質
10	⑤数列	50	⑱三角形の性質
11	問題演習	51	⑱三角形の性質
12	問題演習	52	⑲多角形
13	第2章 方程式・不等式の応用 ⑥一次方程式・一次不等式	53	⑲多角形
14	⑥一次方程式・一次不等式	54	⑲多角形
15	⑥一次方程式・一次不等式	55	⑳円と扇形
16	⑦二次関数・二次方程式	56	⑳円と扇形
17	⑦二次関数・二次方程式	57	⑳円と扇形
18	⑦二次関数・二次方程式	58	㉑立体図形・最短距離
19	⑧一次方程式の整数解・剰余算	59	㉑立体図形・最短距離
20	⑧一次方程式の整数解・剰余算	60	㉑立体図形・最短距離
21	⑧一次方程式の整数解・剰余算	61	問題演習
22	⑨集合の要素の個数	62	問題演習
23	⑨集合の要素の個数	63	
24	⑨集合の要素の個数	64	
25	⑩濃度・割合・比	65	
26	⑩濃度・割合・比	66	
27	⑩濃度・割合・比	67	
28	⑪速さ	68	
29	⑪速さ	69	
30	⑪速さ	70	
31	⑫時計算・年齢算	71	
32	⑫時計算・年齢算	72	
33	⑫時計算・年齢算	73	
34	⑬仕事算・ニュートン算	74	
35	⑬仕事算・ニュートン算	75	
36	⑬仕事算・ニュートン算	76	
37	問題演習	77	
38	問題演習	78	
39	第3章 場合の数・確率 ⑭場合の数	79	
40	⑭場合の数	80	

3. 評価方法

出席	10%	100%	備考欄 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月、2月に行う評定試験の成績が評価のメインとなる ・ 授業内で行う問題演習の得点、出席も評価に加味する。 ・ 出席は毎時間のteamsへの投稿で確認する。 ・ オンラインで質問を受け付ける時間を設け対応する。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員試験 ゼロから合格 基本過去問題集 数的推理		
著者名		出版社	TAC出版

5. 実務教員の経歴

無

科目名	判断推理	必修・選択	必須 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法律公務員学科3年、法学部併修学科3年	開講時期	通年
教員名	池口 清秀	実務授業の有無	無

1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

本科目は対面授業とライブ配信による遠隔授業の併用にて実施する。判断推理の全範囲を指導する。2年次は公務員試験の高卒レベルの内容を指導し、より難易度の高い翌年の大卒レベルの指導へとつなげる。授業では、基本問題の解き方を中心に解説を行う。1テーマ2~4時間で指導を行う。テキストと必要に応じ自作のプリントを使用する。

出欠確認/課題配布&提出/質問受付等は全て授業管理システム(MS Teams)を通じて行うものとする。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 70回 = 3150分 4単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1章 暗号・集合・命題 ①暗号の解説	41	⑮点の移動と軌跡
2	①暗号の解説	42	⑮点の移動と軌跡
3	②集合と要素の数	43	⑮点の移動と軌跡
4	②集合と要素の数	44	⑮点の移動と軌跡
5	②集合と要素の数	45	⑯図形のつながり
6	②集合と要素の数	46	⑯図形のつながり
7	③命題の真偽	47	第6章 空間図形 ⑰立体の組み立て
8	③命題の真偽	48	⑰立体の組み立て
9	問題演習	49	⑱展開図とその応用
10	問題演習	50	⑱展開図とその応用
11	第2章 文章で表された条件 ④対応関係	51	⑱展開図とその応用
12	④対応関係	52	⑱展開図とその応用
13	⑤順序関係	53	⑲投影図とその応用
14	⑤順序関係	54	⑲投影図とその応用
15	⑥試合の勝ち負け	55	⑲投影図とその応用
16	⑥試合の勝ち負け	56	⑲投影図とその応用
17	⑦発言の真偽	57	⑳立体の回転と切断
18	⑦発言の真偽	58	⑳立体の回転と切断
19	⑦発言の真偽	59	⑳立体の回転と切断
20	⑦発言の真偽	60	⑳立体の回転と切断
21	問題演習	61	問題演習
22	問題演習	62	問題演習
23	第3章 数量で表された条件 ⑧操作の方法	63	
24	⑧操作の方法	64	
25	⑨数量の関係	65	
26	⑨数量の関係	66	
27	⑩経路と距離	67	
28	⑩経路と距離	68	
29	問題演習	69	
30	問題演習	70	
31	第4章 方位と位置 ⑪方位と方角	71	
32	⑪方位と方角	72	
33	⑫相互の位置関係	73	
34	⑫相互の位置関係	74	
35	問題演習	75	
36	問題演習	76	
37	第5章 平面図形 ⑬図形の切断と構成	77	
38	⑬図形の切断と構成	78	
39	⑭折り紙と模様	79	
40	⑭折り紙と模様	80	

3. 評価方法

出席	10%	100%	備考欄 ・ 9月、2月に行う評定試験の成績が評価のメインとなる ・ 授業内で行う問題演習の得点、出席も評価に加味する。 ・ 出席は毎時間のteamsへの投稿で確認する。 ・ オンラインで質問を受け付ける時間を設け対応する。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員試験 ゼロから合格 基本過去問題集 判断推理		
著者名		出版社	TAC出版

5. 実務教員の経歴

無

科目名	英語A	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科1年・法律公務員学科1年	開講時期	通年
教員名	スティーブンアロソ	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>社会人として活躍する際に想定される場面での受信、発信する力の基礎力を培うことを目的とする。「読んだ内容、聞いた内容＝受信」したものを自身で「書く、話す＝発信」できる力の向上を目指す。文法、語句を英語的知識にとどめておくだけでなく使える道具として発信力に取り込み、社会人として活躍する際に想定される日常生活での場面、社会活動での場面における英語によるコミュニケーション力の向上をはかる。同時に異文化理解と異文化に対する姿勢づくりも併せて行う。</p>

2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

＝

1350分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	オリエンテーション	41	
2	A Lesson from Bhutan (Grammar)	42	
3	A Lesson from Bhutan (Reading)	43	
4	A Lesson from Bhutan (Reading)	44	
5	A Lesson from Bhutan (Summary)	45	
6	The Story of Mother's Day (Grammar)	46	
7	The Story of Mother's Day (Reading)	47	
8	The Story of Mother's Day (Reading)	48	
9	The Story of Mother's Day (Summary)	49	
10	George Morikami's Dream (Grammar)	50	
11	George Morikami's Dream (Reading)	51	
12	George Morikami's Dream (Reading)	52	
13	George Morikami's Dream (Summary)	53	
14	Pizza: An International Favorite (Grammar, Reading)	54	
15	Pizza: An International Favorite (Reading)	55	
16	Pizza: An International Favorite (Reading)	56	
17	Pizza: An International Favorite (Summary)	57	
18	The Story of the Red Rose (Grammar)	58	
19	The Story of the Red Rose (Reading)	59	
20	The Story of the Red Rose (Reading)	60	
21	The Story of the Red Rose (Summary)	61	
22	Madame Butterfly and Intercultural Marriages (Grammar)	62	
23	Madame Butterfly and Intercultural Marriages (Reading)		
24	Madame Butterfly and Intercultural Marriages (Reading)		
25	Madame Butterfly and Intercultural Marriages (Summary)		
26	A Siesta Makes You Smarter! (Grammar)		
27	A Siesta Makes You Smarter! (Reading)		
28	A Siesta Makes You Smarter! (Reading)		
29	Summary発表		
30	Summary発表		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

3. 評価方法

出席	10%	備考欄 <ul style="list-style-type: none"> 事前学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの表現、語句について下調べをすること。 事後学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの音読練習、ほぼ毎回行う小テストを含め次回への課題に向け取り組むこと。 出席する上での注意点－積極的に発言、参加すること。辞書必携。
授業貢献度	20%	
授業内のレポート・課題等	50%	
中間試験		
期末試験	20%	

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	Enjoyable Reading -100 Key Sentence Patterns- 読んで身につく基本句型100	出版社	成美堂
著者名	Joan McConnell / 武田修一		

5. 実務教員の経歴

英会話スクール講師

科目名	英語B	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科1年・法律公務員学科1年	開講時期	通年
教員名	スティーブンアロソ	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

社会人として活躍する際に想定される場面での受信、発信する力の基礎力を培うことを目的とする。「読んだ内容、聞いた内容＝受信」したものを自身で「書く、話す＝発信」できる力の向上を目指す。文法、語句を英語的知識にとどめておくだけでなく使える道具として発信力に取り込み、社会人として活躍する際に想定される日常生活での場面、社会活動での場面における英語によるコミュニケーション力の向上をはかる。同時に異文化理解と異文化に対する姿勢づくりも併せて行う。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	オリエンテーション	41	
2	Where is PC room? (Vocabulary, Listening)	42	
3	Where is PC room? (Vocabulary)	43	
4	Where is PC room? (Writing)	44	
5	Where is PC room? (Activity)	45	
6	When does Golden Week start? (Vocabulary)	46	
7	When does Golden Week start? (Listening)	47	
8	When does Golden Week start? (Writing)	48	
9	When does Golden Week start? (Activity)	49	
10	What does "term" mean? (Vocabulary)	50	
11	What does "term" mean? (Listening)	51	
12	What does "term" mean? (Writing)	52	
13	What does "term" mean? (Activity)	53	
14	I'm a member of the International Exchange Club (Vocabulary)	54	
15	I'm a member of the International Exchange Club (Listening)	55	
16	I'm a member of the International Exchange Club (Writing)	56	
17	I'm a member of the International Exchange Club (Activity)	57	
18	I got a part-time job at the International Foods Market (Vocabulary)	58	
19	I got a part-time job at the International Foods Market (Listening)	59	
20	I got a part-time job at the International Foods Market (Writing)	60	
21	I got a part-time job at the International Foods Market (Activity)	61	
22	What do you think about this program? (Vocabulary)	62	
23	What do you think about this program? (Listening)		
24	What do you think about this program? (Writing)		
25	What do you think about this program? (Activity)		
26	How do you spend your vacation? (Vocabulary)		
27	How do you spend your vacation? (Listening)		
28	How do you spend your vacation? (Writing)		
29	How do you spend your vacation? (Activity)		
30	When is the due date? (Vocabulary, Listening)		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

3. 評価方法

出席	10%	備考欄 事前学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの表現、語句について下調べをすること。 事後学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの音読練習、ほぼ毎回行う小テストを含め次回への課題に向け取り組むこと。 出席する上での注意点－積極的に発言、参加すること。辞書必携。
授業貢献度	20%	
授業内のレポート・課題等	50%	
中間試験		
期末試験	20%	

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	Campus English	出版社	GENGAGE Learning
著者名	Hiroko Nishikage / Masaaki Tamura / Levi Hanson		

5. 実務教員の経歴

英会話スクール講師

2024年4月1日

科目名	英語C	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科2年・法律公務員学科2年	開講時期	通年
教員名	スティーブンアロソ	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

社会人として活躍する際に想定される場面での受信、発信する力の基礎力を培うことを目的とする。「読んだ内容、聞いた内容＝受信」したものを自身で「書く、話す＝発信」できる力の向上を目指す。文法、語句を英語的知識にとどめておくだけでなく使える道具として発信力に取り込み、社会人として活躍する際に想定される日常生活での場面、社会活動での場面における英語によるコミュニケーション力の向上をはかる。同時に異文化理解と異文化に対する姿勢づくりも併せて行う。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	オリエンテーション	41	
2	Life in a day.(Grammar)	42	
3	Life in a day(Reading)	43	
4	Life in a day(Summary)	44	
5	Don't give up ! (Grammar)	45	
6	Don't give up ! (Reading)	46	
7	Don't give up ! (Summary)	47	
8	Why we buy(Grammar)	48	
9	Why we buy(Reading)	49	
10	Why we buy(Summary)	50	
11	Green living(Grammar)	51	
12	Green living(Reading)	52	
13	Green living(Summary)	53	
14	Food journeys(Grammar)	54	
15	Food journeys(Reading)	55	
16	Food journeys(Summary)	56	
17	Future living(Grammar)	57	
18	Future living(Reading)	58	
19	Future living(Summary)	59	
20	Exploration(Grammar)	60	
21	Exploration(Reading)	61	
22	Exploration(Summary)	62	
23	Music with a message(Grammar)		
24	Music with a message(Reading)		
25	Music with a message(Summary)		
26	Animal behavior(Grammar)		
27	Animal behavior(Reading)		
28	Animal behavior(Summary)		
29	The power of images(Grammar)(Reading)		
30	The power of images(Summary)		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

3. 評価方法

出席	10%	備考欄 <ul style="list-style-type: none"> 事前学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの表現、語句について下調べをすること。 事後学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの音読練習、ほぼ毎回行う小テストを含め次回への課題に向け取り組むこと。 出席する上での注意点－積極的に発言、参加すること。辞書必携。
授業貢献度	20%	
授業内のレポート・課題等	50%	
中間試験		
期末試験	20%	

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	PATHWAYS second edition 1 Reading, Writing, and Critical Thinking		
著者名	Mari Vargo / Laurie Blass	出版社	National Geographic Learning

5. 実務教員の経歴

英会話スクール講師

2024年4月1日

科目名	英語D	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科2年・法律公務員学科2年	開講時期	通年
教員名	スティーブンアロソ	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

社会人として活躍する際に想定される場面での受信、発信する力の基礎力を培うことを目的とする。「読んだ内容、聞いた内容＝受信」したものを自身で「書く、話す＝発信」できる力の向上を目指す。文法、語句を英語的知識にとどめておくだけでなく使える道具として発信力に取り込み、社会人として活躍する際に想定される日常生活での場面、社会活動での場面における英語によるコミュニケーション力の向上をはかる。同時に異文化理解と異文化に対する姿勢づくりも併せて行う。

2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	オリエンテーション	41	
2	Happiness(Vocabulary)	42	
3	Happiness(Listening)	43	
4	Happiness (Writing)	44	
5	Inventive solutions(Vocabulary,Listenin)	45	
6	Inventive solutions(Writing)	46	
7	Connected lives(Vocabulary)	47	
8	Connected lives(Listening)	48	
9	Connected lives(Writing)	49	
10	Saving our seas(Vocabulary)	50	
11	Saving our seas(Listening)	51	
12	Saving our seas(Writing)	52	
13	Memory and learning(Vocabulary)	53	
14	Memory and learning(Listening)	54	
15	Memory and learning(Writing)	55	
16	Animals and medicine(Vocabulary)	56	
17	Animals and medicine(Listening)	57	
18	Animals and medicine(Writing)	58	
19	Nature's fury(Vocabulary)	59	
20	Nature's fury(Listening)	60	
21	Nature's fury(Writing)	61	
22	Building wonders(Vocabulary)	62	
23	Building wonders(Listening)		
24	Building wonders(Writing)		
25	Form and function(Vocabulary)		
26	Form and function(Listening)		
27	Form and function(Writing)		
28	Smart advice(Vocabulary)		
29	Smart advice(Listening)		
30	Smart advice(Writing)		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

3. 評価方法

出席	10%	備考欄 <ul style="list-style-type: none"> 事前学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの表現、語句について下調べをすること。 事後学習－授業時間同様の時間を使い、学習ユニットの音読練習、ほぼ毎回行う小テストを含め次回への課題に向け取り組むこと。 出席する上での注意点－積極的に発言、参加すること。辞書必携。
授業貢献度	20%	
授業内のレポート・課題等	50%	
中間試験		
期末試験	20%	

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	PATHWAYS second edition 2Reading,Writing,and Critical Thinking		
著者名	Mari Vargo / Laurie Blass	出版社	National Geographic Learning

5. 実務教員の経歴

英会話スクール講師

科目名	情報処理1	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科1年・法律公務員学科1年	開講時期	通年
教員名	高村恵利加	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

- ・タッチタイピングをマスターする。
- ・テキストを使用し、Wordの基本操作を習得する。
- ・プリントを使用し、理解を深める。
- ・ビジネス文書を作成できるようになる。
- ・検定問題集を使用しWord3級の合格を目指す。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

60回

＝

2700分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	入力練習(正しい指使い)	41	模擬試験
2	基本操作(起動と終了、画面構成等の基本を学習する。)	42	模擬試験
3	入力練習(アルファベット)	43	模擬試験
4	入力練習(ひらがな)	44	模擬試験
5	入力練習(ひらがな)	45	模擬試験
6	入力練習(漢字変換)	46	模擬試験
7	入力練習(漢字変換)	47	模擬試験
8	編集(ページ設定、書式設定、罫線と網掛けなど基本的な編集)	48	模擬試験
9	編集(ページ設定、書式設定、罫線と網掛けなど基本的な編集)	49	模擬試験
10	文書の印刷	50	模擬試験
11	文書の印刷	51	模擬試験
12	ビジネス文書作成	52	問題演習
13	ビジネス文書作成	53	模擬試験
14	入力オートフォーマット、段落番号、箇条書き、タブ	54	模擬試験
15	入力オートフォーマット、段落番号、箇条書き、タブ	55	模擬試験
16	表の作成、編集を学習する。	56	模擬試験
17	表の作成、編集を学習する。	57	模擬試験
18	図形作成、編集、画像の挿入、ワードアートを学習する。	58	模擬試験
19	図形作成、編集、画像の挿入、ワードアートを学習する。	59	検定
20	問題演習	60	検定
21	文書の印刷	61	
22	ビジネス文書作成	62	
23	ビジネス文書作成		
24	入力オートフォーマット、段落番号、箇条書き、タブ		
25	入力オートフォーマット、段落番号、箇条書き、タブ		
26	表の作成、編集を学習する。		
27	表の作成、編集を学習する。		
28	図形作成、編集、画像の挿入、ワードアートを学習する。		
29	図形作成、編集、画像の挿入、ワードアートを学習する。		
30	問題演習		
31	問題演習		
32	問題演習		
33	問題演習		
34	問題演習		
35	問題演習		
36	問題演習		
37	問題演習		
38	模擬試験		
39	模擬試験		
40	模擬試験		

3. 評価方法

検定合格状況と模擬試験の点数により A: 検定合格かつ模擬試験90点以上 B: 検定合格かつ模擬試験80点以上 C: 上記以外の成績者 D: 出席率75%未満の者(追試)	備考欄
---	-----

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	WORDクイックマスター基本編 WORD基本問題集	出版社	株式会社ウイネット
著者名			

5. 実務教員の経歴

PCスクール講師

科目名	情報処理2	必選／形式	必修 / 対面・遠隔授業(ライブ配信) 併用
対象クラス	法学部併修学科2年・法律公務員学科2年	開講時期	通年
教員名	高村恵利加	実務授業の有無	有

1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

- ・テキストを使用し、Excelの基本操作を習得する。
- ・練習プリントを使用し、応用力を身に付ける。

2. 授業計画

(1時限

45分

×

40回

＝

1800分

1単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	Excelの基本操作	41	
2	データの編集	42	
3	データの編集	43	
4	データの編集	44	
5	表の編集	45	
6	表の編集	46	
7	表の編集	47	
8	表の編集	48	
9	ブックの印刷	49	
10	ドリルプリント	50	
11	ドリルプリント	51	
12	グラフと図形の作成	52	
13	グラフと図形の作成	53	
14	グラフと図形の作成	54	
15	グラフと図形の作成	55	
16	ブックの利用と管理	56	
17	関数	57	
18	関数	58	
19	関数	59	
20	関数	60	
21	ドリルプリント	61	
22	ドリルプリント	62	
23	データベース機能		
24	データベース機能		
25	問題集練習問題1		
26	問題集練習問題1		
27	問題集練習問題2、3		
28	問題集練習問題2、3		
29	問題集模擬問題1		
30	問題集模擬問題1		
31	問題集模擬問題2、3		
32	問題集模擬問題2、3		
33	問題集模擬問題4、5		
34	問題集模擬問題4、5		
35	問題集模擬問題6、7		
36	問題集模擬問題6、7		
37	サンプル問題		
38	サンプル問題		
39	検定		
40	検定		

3. 評価方法

検定可否状況と模擬試験の点数により A: 検定合格かつ模擬試験90点以上 B: 検定合格かつ模擬試験80点以上 C: 上記以外の成績者 D: 出席率75%未満の者(追試)	備考欄
---	-----

4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	EXCELクイックマスター基本編 EXCEL基本問題集	出版社	株式会社ウイネット
著者名			

5. 実務教員の経歴

PCスクール講師
